

第 77 回 全日本バレーボール高等学校選手権大会 沖縄県代表決定戦
抽選会および代表者会議資料

日時：令和 6 年 10 月 1 日（火）14：00
場所：那覇市民体育館（サブアリーナ）

1. 競技日程および会場

令和 6 年 10 月 26 日（土） 男女 1 回戦
会場 美里工業高校 E・F 宜野座高校 G・H 球陽高校 I・J
令和 6 年 10 月 27 日（日） 男女 2・3 回戦
会場 美里工業高校 E・F 嘉手納高校 K・L 石川高校 M・N
美来工科高校 O・P 普天間高校 Q・R 北谷高校 S・T
具志川商業高校 U・V 具志川高校 W・X
令和 6 年 10 月 28 日（月） 男女準々決勝・準決勝戦
会場 豊見城市民体育館 A・B・C・D
令和 6 年 11 月 4 日（月） 男子決勝戦 ⇒ 女子決勝戦
会場 豊見城市民体育館 特設コート

2. 開館および試合開始時刻

大会 1・2 日目

08：50 開館
09：00 第 1 試合チームのコート練習開始
09：15 コート点検
09：19 プロトコール
09：30 第 1 試合開始

大会 3 日目

08：30 第 1 試合チーム入館のちコート設営
09：00 以降は、1・2 日目と同様

大会最終日

08：30 入館
09：10 コート点検
09：15 プロトコール
09：30 試合開始

※ 女子決勝戦のプロトコールは、男子決勝戦終了の約 30 分後を予定しているが、テレビ局と調整後に決定し、当該チームへ連絡する。

3. 参加チーム一覧

【男子】 北山 名商工 名護 石川 前原 具志川 読谷 嘉手納 美里+美咲 美来工
コザ 美工 球陽 北谷 普天間 宜野湾 西原 浦商 浦工 陽明 昭薬附
浦添 那工 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 真和志 那商 那覇
小禄 那覇西 開邦 南風原 知念 豊見城 豊南 南農 向陽 糸満 久米島
宮古 宮総実 八重農 八商工 八重山 男子 48 (44) チーム

【女子】 本部 名商工 名護 宜野座 石川 具商 前原 具志川 読谷 嘉手納
美里+美咲 コザ 球陽 北中城 普天間 中商 宜野湾+南風原 西原
浦商 陽明 昭薬附 浦添 那国際 興南 首里東 首里 沖工 沖尚 那商
那覇 小禄 那覇西 開邦 知念 豊見城 豊南 向陽 糸満 宮古
女子 39 (41) チーム

合計 87 (85) チーム

() 内は昨年度の数

4. シードチーム

- 【男子】 ベスト4シード：西原 美工 首里 コザ
ベスト8シード：八商工 宮古 前原 小禄
会場運営シード：美工 嘉手納 美来工 北谷 具志川（1/8 ゾーン）
- 【女子】 ベスト4シード：首里 西原 中商 コザ
ベスト8シード：前原 普天間 小禄 具商
会場運営シード：石川 普天間 具商（1/8 ゾーン）

5. 抽選手順

- ① 第1から第4シードを入れる
- ② ベスト8シードの予備抽選のち位置抽選
- ③ 離島チームの位置抽選（初戦での離島チーム同士の対戦を避けるため）
※ 女子は、離島チームが1チームなので、③は行わない。
- ④ 会場運営シードのゾーン抽選のち位置抽選
- ⑤ 北のチームから順に予備抽選のち位置抽選

6. 代表者会議

- （1） 競技運営上の確認事項について
- （2） 審判上の確認事項について
- （3） 総務からの連絡事項について
- （4） その他

競技運営上の確認事項

大会競技委員長

1. 本大会は、2024 年度公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則および競技要項により実施する。
2. トーナメント戦とし、3 位決定戦は行わない。決勝戦のみ 5 セットマッチとし、他は全て 3 セットマッチとする。
3. 大会 3 日目の豊見城市民体育館のコート設営は、第 1 試合のチームが 08：30 に入館して行う。
4. 監督またはコーチは、試合当日 08：30*より各会場にて行われる代表者ミーティングに必ず参加すること。ただし、第 4 試合のチームについては、その限りではない。
* 大会 3 日目の豊見城市民体育館会場の代表者ミーティング開始時刻は、コート設営完了の目処が立ち次第、競技副委員長より館内放送にて連絡する。
5. 開館および試合開始時刻は、「抽選会および代表者会議資料」に記載してある通りとする。決勝戦を除き、全試合 60 分設定（試合開始時刻はホイッスル時間）で進行し、それより早く開始することはない。試合の当該チームは、前試合の両チームのコートアウト後*（試合が連続する場合は、コートアウト完了の 15 分後）、審判員の指示に従ってコートインし、10 分間（2 日目および 3 日目の第 2 試合は 20 分間）の合同練習後、プロトコールに入る。前試合が早く終了した場合のコートイン時刻は、試合開始時刻の 25 分前とする。

* 大会 2・3 日目の第 2 試合の両チームは、第 1 試合の補助員を終え次第、速やかに試合の準備をすること。

6. 大会使用球は、下記の（公財）日本バレーボール協会検定人工皮革カラーボールとする。
男子：ミカサ（V300W） 女子：モルテン（V5M5000）
7. チームの構成は、監督・コーチ・マネージャー各1名、選手14名以内とし、選手が13名以上の場合は、リベロプレーヤを必ず2名含むこと。なお、監督・コーチ・マネージャーの各章は、規定のものを各チームで用意し、明確に判別できる位置に付けること。また、監督・コーチが外部指導者の場合は、登録証も身につけておくこと。
8. 選手のエントリー（18名以内）およびベンチスタッフの変更は、参加申込書原本の提出により行い、当該チームの初戦開始30分前までに、引率責任者が本部席に提出すること。提出後の変更は一切認めない。
9. チームは、各試合の「コンポジションシート」を、第1試合については、試合開始時刻の30分前までに、第2試合以降については、前試合の第1セット終了までに、エントリー委員に提出すること。ただし、試合が連続する場合は、前試合終了後に速やかに提出すること。また、各試合終了時に、ファーストレフェリーまたはセカンドレフェリーより受け取り、試合毎に提出すること。
10. 「ラインアップシート」は、公式ウォームアップ時にセカンドレフェリーまたはスコアラーに提出すること。
11. 引率責任者は、監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、プロトコール時に、主審による所在確認を受けること。
12. 第1試合のチームのコート練習についても、他の試合と同様に、入館後の10分間の合同練習のみとする。ただし、決勝戦については、その限りではない。
13. 隣のコートで試合が行われている場合の練習はパス程度とする。
14. 公式ウォームアップ終了15分後になってもコートにこないチームは失格とする。
15. 補助員（記録・点示・ラインジャッジ）は8名とし、前試合の負けチームで行う。ただし、大会1日目の第1試合については、当該コートの第3試合のチームで行い、大会2日目および3日目の第1試合については、当該コートの第2試合の両チームで行う。また、決勝戦については補助役員を配置する。
16. ユニフォームとは、ジャージ（シャツ）・ショーツ・ソックスを指す。ジャージ（シャツ）・ショーツは色およびデザインが、ソックスは色および長さが統一されていることとする。また、ジャージ（シャツ）は必ずショーツに入れなければならない。
17. 手袋を着用してのプレーは、原則禁止とする。
18. 太鼓等*の応援は、試合進行の妨げにならない限り認める。
* 拡声器の使用は、試合への影響を考慮し、高校会場においては認めない。また、使用する際は、コートへ向けての使用は禁止とし、応援席側へ向けて使用すること。
19. プレーヤーの安全とスムーズなゲームの進行を確保する目的で、各チームから2名のクイックモッパー*を配置することができる。
* 各チームは、フロアモッピングがスムーズに行えるよう、事前に、ルールブック p.161-162 の「フロアモッピングアシストシステム」を熟読し、トレーニングしておくこと。

審判上の確認事項

大会審判委員長

1. 本大会は、2024 年度（公財）日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
2. チームは、監督・コーチ・マネージャー各 1 名、選手 14 名以内とする。選手は、18 名まで申し込むことができ、試合毎に 14 名をエントリーすることができる。ただし、13 名以上をエントリーする場合は、リベロを必ず 2 名含めることとする。
※ 監督・コーチが共に外部指導者で、マネージャーが生徒の場合、試合開始前のプロトコール時に引率責任者の所在を主審で確認すること
3. リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。
4. リベロは、チームの他の選手と、主要な部分の色が異なるユニフォームを着用しなければならない。ユニフォームの色は、チームの他の選手とは明らかに対照的でなければならない。2 人のリベロはチームの他の選手と異なる色で、さらにお互いに異なる色のユニフォームを着用することもできる。
5. 試合開始前、監督は選手の名前、番号をスコアシートのチーム選手欄に記入するか、記入されたものを確認した後、サインする。（チームキャプテンの番号を丸で囲み、リベロの番号を記入しサインをする。）また、チームキャプテンはチームを代表してトスを行い、トスの開始前と試合終了後にサインをする。
6. 各セットの開始前、監督は、正しく記入されたラインアップシートにサインし、セカンドレフェリーまたはスコアラーに提出する。ラインアップシートが提出されたら、正規の選手交代をせずに、ラインアップを変更することはできない。
7. セット開始前に行うラインアップシートとスターティングプレーヤーの照合の際は、リベロを確認する必要はない。（リベロはベンチで待機）
8. コート上で円陣を組んで掛け声をかけるケースについては、ラインアップシート確認後は最大限スターティングメンバーの 6 名とリベロ 2 名の計 8 名までとする。
9. タイムアウトを要求できるのは、監督のみである。その際、ラリー終了後に公式ハンドシグナルで明確に示すこと。
10. チームメンバーによる不法な行為（相手に向かって”ガッツポーズ”などで挑発・威嚇する行為など）に対しては、競技規則第 21 条「不法な行為とその罰則」に則って罰則を適用する。
11. 判定に対する質問は、ゲームキャプテンのみであるので、監督や他の競技者からの質問は受けつけない。（判定へのアピール等は警告の対象となります。）
12. 試合の前後は、選手全員がエンドラインに整列し、主審の合図で挨拶（握手）する。なお、試合終了後に監督とキャプテンは、審判員にも挨拶（握手）する。
13. 競技中のコートワイピングについては、プレーヤー自身がコートを拭くことを原則とする。（ワイピング用タオルは、チームで多めに準備し、スターティングプレーヤー全員が持つことが望ましい。）

14. 競技中の服装について

アンダーウェア等について（競技要項 p.62 抜粋）

- (1) アンダーウェアは、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から出てしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
- (2) 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険である場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
- (3) 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

総務からの連絡事項

大会総務委員長

1. 参加者全員、服装を正し高校生としてふさわしい身なりと態度を心がけてください。
2. 各会場とも、体育館以外の施設へは立入禁止です。
3. 置き引き・盗難に注意して、貴重品はチームで責任をもって管理してください。
4. 各会場とも、ごみは各チーム責任を持って持ち帰りをお願いします。
5. 更衣室・ロッカーの占有は禁止です。チームの荷物を置きっぱなしにしないでください。
6. 体育館は土足厳禁となっています。外履き内履きの区別をしっかりとしてください。また、玄関の靴を脱ぎ履きするスペースは、靴を置く場所ではありません。他の人の出入りに迷惑が掛からないよう、玄関に靴を置きっぱなしにせず、チーム関係者は、各自で靴の管理をお願いします。豊見城市民体育館に関しては、靴箱の利用もできませんので、各チーム、靴袋等を確実に準備してください。
7. 危険な場所で観戦しないで下さい。
8. 高校生の運転する車両での来場は禁止です。
9. 毎回忘れ物が多数出ます、気をつけて下さい。
10. 未登録の選手及び登録料未納の選手がいる場合、大会当日までに登録・支払いを済ませ、JVA チーム加入選手一覧表の差し替えをお願いします。
11. 豊見城市民体育館に関して
 - (1) トレーニングルームは一般の利用者がいます。試合前後に更衣室にチームの荷物を置きっぱなしにしたり、施設を長時間使用したりすることが無いように協力をお願いします。着替え等の際もチームで固まらず、個人個人で速やかに着替えを済ますようにして下さい。
 - (2) 駐車場に関しては、駐車場係の指示に従い、指定の場所への駐車をお願いします。近隣の道路・店舗への駐車はレッカー移動の対象になりますのでご注意ください。